

中部横断自動車道（長坂～八千穂）長野県区間の
1 k mルート帯及びI Cの概略位置の説明会
概 要

平成30年11月15日 小海町役場

《説明》

- 中部横断自動車道の経緯について（長野国道）
- 長野県の地元意見把握の取り組みについて（長野県）
- 長野県区間の1 k mルート帯及びI Cの概略位置の考え方について（長野国道）
- 長野県区間の1 k mルート帯及びI Cの概略位置について（長野国道）

《質疑応答》

- 住民A
40年来、別荘地にいる。1 k mルート帯と鳥獣保護区が重なっているのはなぜか。
- 説明者（長野国道）
1 k mルート帯は3 k m帯をベースに地形的要因から配慮ポイントを加味して絞っている。現在は1 k mルート帯を示した段階であり、1 k mルート帯ではどうしても避けられない個所も出てきてしまう。鳥獣保護区は、今後具体化していくうえで配慮していく。
- 住民B
6町村の意見として「全て政策インターチェンジとして整備して欲しい」とあるが、その方針で良いか。
- 説明者（長野国道）
現在、1 k mルート帯とインターチェンジの概略位置が決まったところで具体的な整備方針は確定していない。構造物や整備方針は今後検討していく予定であり現時点では確定していない。
- 住民B
可能性もあるということによいか。
- 説明者（長野国道）
インターチェンジが3ヶ所ということが決まっただけであり、それ以上は決まっていない。

○住民C

八千穂高原インターチェンジまで開通して便利になった。今後の交通事故の懸念もあるが、待避所が少ないように思う。大型車の事故などの停止や路面凍結も考えられる。小海町から県境は国道141号しかないので災害などがあれば迂回路が無い。3か所のインターチェンジ以外でも乗り降りできるようにできないか、トイレとか休憩所は設置できないのか。

○説明者（長野国道）

開通区間は、片側1車線の対面通行であることや、他の（片側2車線以上の）高速道路に比べ道路の幅が狭いこともあるが、待避所については設置基準に基づいて設置しているのでご理解いただきたい。インターチェンジは3か所で計画している。

○住民D

1kmルート帯が決定したが、これからの作業工程のようなタイムテーブルについて、大まかに、あるいは2～3年での関連資料は無いのか。

○説明者（長野国道）

現在は1kmルート帯を決めた段階である。今後は道路が周辺環境にどう影響するのかを評価する環境影響評価を進めていく予定である。

○住民D

環境影響評価は何年くらい掛かり、どういう内容か。

○説明者（長野国道）

本日提示できる関連資料は持ち合わせていない。環境影響評価（方法書）の作成に入るので、それが何年で終わるかは今の段階では言えない。

○住民D

確定でなくていい。大きな工程表は無いのか。八千穂高原インターチェンジから佐久北インターチェンジは何年だから、この区間は何年とか示せないか。

○説明者（長野国道）

環境影響評価（方法書）に入った段階で、どのくらいの期間が掛かるのかについては別の形でお知らせする予定。

○住民D

来年、小海町は長期振興計画をつくる予定なので、中部横断を反映させて、上手く連携していきたい。

○住民E

残り34kmを同時に行うのか。八千穂から小海までを先に手掛けるとかできないのか。

○説明者（長野国道）

今後の事業計画についてであるが、まだ1 kmルート帯であってルートが決まってない状況。どういう構造にするか等は、環境影響評価等の具体化が必要であり、今の段階では確定していない。

○住民E

1日も早くお願いしたい。

○住民F

中部横断道は、概ねいつ頃に出来るのか。

○説明者（長野国道）

今は1 kmルート帯が決まったところ。環境影響評価に何年か掛かり、その後ルートを決めて調査、設計、用地買収に入っていくので、それぞれに時間が掛かり、今のところは具体的に言えない。ご理解いただきたい。

○住民F

しつこい様だが、今までの経験から大体の期間が示せないか。夢を持たせるような回答を頂きたい。

○説明者（長野国道）

既に通している佐久南インターチェンジから八千穂高原インターチェンジの14.6 kmについては計画から20年くらい掛かっている。当地の標高や気象などを考慮すると、平地より時間が掛かると思われる。

○住民G

八千穂高原インターチェンジまで開通して非常に助かっている。長坂～八千穂間の34 kmが早く開通してほしい。国道141号の1本では大変なので自然災害の代替え道路として、小諸・佐久方面への通勤として、また、観光や物流などに効果大きい。海なし県なので美味しい魚を食べたい、山梨のブドウが食べたい、当地の野菜を県外の方にも食べてもらいたい。そのため、中部横断道の一部区間でも開通をするなど、早期の開通をお願いしたい。

○説明者（小海町）

国、県にお願いしていく。

○住民H

国道141号の西側とのことだが、松原湖付近は、国道141号が1 kmルート帯の中に入っている。また、1000 m越えの高速道路は珍しいと聞いているが大丈夫なのか。

○説明者（長野国道）

松原湖及びその周辺にある湖も避けたためであり、1 kmの幅を持ったルート帯であるため、国道141号が真ん中になっている。また、当地域の標高が高いことは十分承知している。今後、冬季の路面管理にも配慮して、構造等を

検討する予定。

○住民H

1 kmルート帯が湖に関係していることを理解した。芦平地区では以前、土砂崩れがあったので、災害の迂回路としての危険性に関して伺いたい。

○説明者（長野国道）

現在は大まかなルート帯の段階。具体的な地質調査に入ってから1 kmルート帯をルートに絞る予定。今後、具体的な調査で精度を上げていく。

○住民I

長期的なこともあるが、短期的に来年はどういう予定か。予算はどれくらいか。

○説明者（長野国道）

1 kmルート帯とインターチェンジの概略位置が決まったので、来年は、環境影響評価（方法書）の手続きに入る。予算的には調査の予算のみである。

○住民J

長坂～八千穂の34 kmをどう進めていくのかということであるが、一体で計画しないといけないのか。全ての区間で調査しないといけないのか。

○説明者（長野国道）

道路事業で34 kmは長いと思う。今後、具体的にどうするかは考えていくが、当面は長坂～八千穂の34 kmは一体として進めていく予定。

○住民K

国の事業となるのか。無料なのか、有料なのか。

○説明者（長野国道）

資料の3頁を見ていただきたい。赤い破線部は事業中と記載されているとおり、道路の建設は事業と表現する。このとき誰が事業者かということになる。六郷インターチェンジ～双葉ジャンクションはNEXCO、八千穂高原インターチェンジ～佐久小諸ジャンクションは国交省。調査中の34 km間の事業者はまだ決まっていない。このため無料か有料かということもまだ決まっていない。本日は、事業予定者として説明をしているところ。

○住民L

酒屋を営んでいる。国道の店舗に客が来なくなる例がある。店舗で待つタイプの店は厳しい面もある。道路を直さないのも良くない。チャンスと捉え、前向きに考えたい。行政と一緒に町外の人を迎えられるかを、町の施策として考えてほしい。早くつくってほしい。

○小海町長

貴重なご意見である。今後は、小海で降りて何かする、魅力ある町にするよう前向きに考えていきたい。

○住民L

町の長期振興計画に組み込むなど、町づくりの一環にしてほしいと思う。

○住民M

中部横断道が開通し、八千穂まで出て佐久、長野まで行けるようになった。子供も県外から来る時に喜んでいる。しかし、女性として、走っていると上がったたり下がったりで運転しづらい。もっとまっすぐな道を造ってほしい。

○説明者（長野国道）

開通した区間は、山と谷を交互に越えている。低い山なら崩し谷を埋める、高い山ならトンネル、深い谷なら橋という形で、なるべく平らな道路を計画しているが、地形的要因によりどうしても勾配が出てしまう。道路の基準に基づき、今後の計画で配慮していく。

○小海町長

本日はご苦労様。今日の説明会で言い忘れたことがあれば、役場に言って来てほしい。中部横断自動車道は夢の道、希望の道なので、ご協力をお願いしたい。

— 以上 —